

## ◆ 編集後記 ◆

平成8年度も残すところあと1ヶ月余りとなりました。年度末を控え、また新年度への準備と皆さんには忙しい日々をお送りの事と思います。

さて、今月号は報文3編、技術資料1編そして内外事情2編となっております。開発土木研究所が他の研究機関と比較して有利であるのは、大きな試験フィールドを有しているという事です。今回の報文も机上検討と現地での確認試験による検証を行い、現場への有効活用が期待されるものであります。

今後もこの利点を生かし現場とリンクした研究成果がたくさん出る事を期待します。また、技術資料は「人にやさしい歩道整備ガイドライン（案）の紹介」ということで、いわゆる社会的弱者に対する道路整備のあり方について述べられていますが、今後の日本の社会に重要な視点となると思われます。

私たちがやがて年を取り自分が設計した道路（構造物）に足元をすくわれたいようにしたいものであります。

相変わらず内外事情が続いています。海外へ行きたい若者諸君、是非開発土木研究所を希望して下さい。かく言う私も、この号が皆さんの手元に届く頃海外（アメリカ）へ行って、内外事情のネタ探しをしているでしょう。

（高橋・福沢）

### 編集幹事会

幹事長	河崎健吾		
幹事	山下彰司	明田定満	佐藤昌志
	北野初雄	福澤義文	高橋守人
	沖田良隆	鈴木哲也	大沼秀次

開発土木研究所月報  
No.525 1997年2月  
平成9年2月20日 発行

発行所 北海道開発局開発土木研究所  
062 札幌市豊平区平岸1条3丁目  
TEL(011) 8 4 1 - 1 1 1 1 (代表)  
FAX (011) 8 2 4 - 1 2 2 6

印刷所 北海道印刷企画株式会社  
札幌市中央区南11条西9丁目  
TEL 5 6 2 - 0 0 7 5 (代)